

第1回資源評価結果説明会

【議事要旨】

○日時：令和4年10月21日（金）10:00～17:00

○場所：Web 会議

○概要：

キンメダイ太平洋系群、カタクチイワシ瀬戸内海系群、マルアジ日本海西・東シナ海系群及びムロアジ類東シナ海の資源評価結果について、当該水産資源の関係者を主な対象としつつ、公開でウェブ形式の説明会を開催した。

説明会では、国立研究開発法人水産研究・教育機構から水産資源ごとの資源評価結果の説明を行い、これに対して参加者から質問・意見等があり、活発な議論が行われた。

主な意見等は以下のとおり。

1. キンメダイ太平洋系群について

- ① 情報が集まっている海域のデータを元に再生産関係が推定されているものの、他の海域からの加入の可能性があることから、引き続き、海域全体としての評価の検討も含め、資源評価の精度の向上に努めて欲しい。
- ② 卓越年級群の発生要因や食害による影響について研究を進めて欲しい。
- ③ 数量管理と自主的管理のメリットデメリットについて整理して欲しい。

2. カタクチイワシ瀬戸内海系群について

- ① 漁獲尾数が多いにも関わらず、本系群の資源評価にシラスを含めていない背景について、わかりやすい説明をして欲しい。
- ② 資源量推定に使用している産卵量調査結果は年変動が大きく、資源密度以外の要因も含まれる可能性も若干懸念されるため、標準化を必要に応じ検討して欲しい。
- ③ 資源状態が良好である資源の管理の在り方やシラス漁業について質問があり、具体的な議論は資源管理手法検討部会等で議論することとなった。

3. マルアジ日本海西・東シナ海系群及びムロアジ類東シナ海について

- ① 中国漁船により日本漁船の操業が妨げられていることによる資源量指標への影響が懸念されるため、資源量指標値の妥当性を検討して欲しい。

- ② 狙い操業を考慮した標準化 CPUE について、資源の状態を正しく反映しているか疑問が呈されており、算定方法について詳しく説明して欲しい。
- ③ 2系ルールに基づく資源評価について、目標基準の設定の仕方について詳しい説明をして欲しい。

以上の検討依頼について、今後の課題として検討されることとなった。

なお、3の②及び③への対応については、後日、当該水産資源の参加者を主な対象とし、追加の説明会を開催することとなった(11月18日(金)に開催予定)。

以上